

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	初級英会話Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川 絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>英語での日常のやり取りができることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスニング力を養い、日常行われる質問を聞き取れることを目標とする。 ・スピーキング力を養い、日常生活レベルの質問に対し、応答できるようになることを目標とする。 ・異文化の文化的背景にも親しむ。異文化の多様性に寛容になることを目指す。 						
日程と内容	<p>第1回 オリエンテーション&summer report in English 第2回 Unit 6 Buying & Selling 第3回 Unit 6 Buying & Selling 第4回 Unit 7 Weather 第5回 Unit 7 Weather 第6回 Unit 8 Mysteries 第7回 Unit 8 Mysteries 第8回 Review 1 第9回 Unit 9 Education 第10回 Unit 9 Education & Presentation 第11回 Unit 9 Education & Presentation 第12回 Unit10 Water & Presentation 第13回 Unit10 Water & Presentation 第14回 Unit10 Water & Presentation 第15回 Review 2 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	10%	小テスト・積極的参加	30%			
	演習			100%			
授業到達目標の達成度	<p>概ね達成できた。 リスニング力及びスピーキング力が、少しずつではあるがついてきている。 簡単な英語会話を楽しむようになってきている。 異文化への興味、理解を促進することができた。</p>						
反省点	<p>リスニング力およびコミュニケーション力が少しいたようではある。場面設定をしての複数での会話練習は、ほとんどの学生が楽しそうに取り組んでいたことを鑑みると、日常生活で英語を使用する機会に恵まれると効果は倍増するであろう。そのような場をどのように設定するかが今後につながっていくことと考える。</p>						
来年度の計画	<p>小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく。また、社会に出ても、もはや国境を越えた人・物の移動によって、生活および働き方自体が大きく変わっていく。そういった流れの中で、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた会話力(洞察力・判断力)を付けてもらいたい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>概ねいい評価である。どの学生も喜々として参加してくれたことは、教師と学生のコミュニケーションがうまく取れていたと解釈している。様々な文化を英文を読み、会話を展開し、DVDを鑑賞したことで、「わからないところを丁寧に説明してくれた」、「楽しかった」等の学生からの言葉を得ることができ、教師として大変励みになる。</p>						
履修登録者数	25名	定期試験受験者数	25名	合格者数	25名	合格率	100%